

倉吉市立小学校適正配置【明倫地区】説明会 概要

倉吉市教育委員会事務局

- 1 日 時 平成29年5月29日（月）19時30分～21時00分
- 2 場 所 明倫公民館会議室1、2ほか
- 3 出席者 住民、学校関係者：24名
市教委：教育長、宮近教育委員、仲田教育委員、事務局長、学校教育課長
指導主事 等
倉吉市：企画振興部次長兼総合政策課長

4 概要

- (1) 教育長あいさつ
- (2) 資料説明（学校教育課長）
- (3) 適正配置に関する課題と対策について（グループ協議）
※「将来のくらし【明倫地区】を考える」を記載後、3グループで話し合いを行った。

【話し合いでの意見等】

地区の状況はどうか（元気が・・・）

- 老人クラブの皆さんは元気がある。（他のグループでも、高齢者が元気だという意見多数あり）
- 地域に思いを持っている人が多い。（高齢者が頑張らないと維持出来ない）
- 自分の町は人数が少ないが、若い人や高齢者もいろいろなスポーツやボランティア活動に積極的に参加し活発である。
- ◆子どもが大変少なく、やはり子どもがいないと活気がないと感じる。（複数意見あり）
- ◆世代や町によって温度差があるが、全体的に若い世代の元気がほしい。
- ◆行事への子どもや保護者の参加が少ない。
- ◆同居出来る家が少ないため、外に出ていってしまう。（急激に人口が減っている）
- ◆元気がない原因を突き止めてこなかった。（定住化策など）

学校の現状について（児童が・・・）

- 120人の児童が、少ないながらも大きな声で校歌を歌ったり、金管バンドも頑張っている。
- 下校時に異学年同士で缶蹴りをしながら帰っていた姿が懐かしくいい光景だった。

[ややおとなしいという理由]

- ・野球などスポ少が成り立たない。（スポ少に入っていない子が多い）
- ・遊び方を知らない。
- ・ガキ大将のような存在がいらない。
- ・いろいろな世代で一緒に遊ぶ姿がない。（地域の中で）
- ・1クラスの世界が狭い。クラス替えがないのはどうかと思う。
- ・競争相手がいなくておとなしい。
- ・刺激が少なく意見が対立することもなく、いざこぎも起きない。（良い意味での刺激は必要）
- ・1クラスだとボスはずっとボスなので、保護者のためにも複数学級があっても良いと思う。
- ・大人が声をかけないと子どもからあいさつなどの声が出ない。

小学校適正配置について気がかりな点について

〔地域の衰退化〕

- ・「おらが村」の考えは古い。将来的観点で進むべきである。
- ・小学校が無くなると地域が衰退するのか？小学校があると衰退しないのか？そうではなく、親や子どもが、どう地域と関わっていくかが大事である。子どもの育ちと共に親も積極的に地域活動に参加することで、自然と子どもも地域へ関わっていくと思う。
- ・住居の問題が大きい。

〔計画のスピード〕

- ・スピード感が必要である。あと1、2年で移ってくると思っていたが、進んでいないことに裏切られたような気がする。
- ・大人は主張ばかりなく、互いに歩み寄らなければいけないと思う。
- ・統合は賛成なのに、そこから進まないのは大人のエゴだと思う。
- ・子ども達の為に早く進めてほしい。(複数意見あり)
- ・意見を聞くのも良いが、強引に進めても良いと思う。

〔その他〕

- ・子どものためにどうするのが良い方法かを考えなければならない。
- ・他地区から来られる児童の安全面が心配である。
- ・校区が広がり行動範囲が広がることに、安全面など心配する。(複数意見あり)
- ・校区が広がることに特に心配はしていない。
- ・3地区が1つの学校になる計画だが、それぞれの地区で地域と子どもをしっかり繋げることが大切だと思う。

解決する手がかりについて (①～③の課題・問題点を解決する方法など)

〔②学校の現状について (ややおとなしいという理由に対しての解決する手がかり)〕

- ・児童数が増えれば、その分世界が広がって変わると思う。(競争相手が出来て活発になる)
- ・1クラスの世界が狭いので、クラス替えが必要だと感じる。
- ・人数が多いと付き合う人間の幅と深さが変わると思う。
- ・学力、人間関係、集団活動のあたりで、現在は人数が少ないため行事をするにも児童の隙間に地域の方に入ってもらって埋めていた。やはりいろいろな活動をするにも、そこそこの人数が必要かと思う。こぢんまりとした活動は出来るが、ダイナミックさが少なく、もっとパワーを子どもにつけさせたい。全校児童の顔が見えて競争出来るくらいの人数(複数学級)だと、予めいろいろな準備をしなくても、自然に火がついて突発的にでも、教育的活動が作りやすい。
- ・3、4年前にした明倫会議「明倫地区をこうしたい」という、子どもや若い人が増えるにはどうするかなど議論する場が必要である。
- ・以前、上北条小学校が無くなった時、上北条地区が衰退したか？そうではなく、地域が頑張っって人口も増えたので、再び学校が出来ている。明倫地区も町によっては急激に増えたり減ったりして時代によるが、地域のみんなが頑張れば衰退化はしないと思う。
- ・どこで折り合いをつけるのか？感情的なものは解決出来ないので、1つ1つ解決していくことが必要である。
- ・3地区が1つの学校になる計画だが、それぞれの地区で地域と子どもをしっかり繋げることが大切だと思う。

小学校適正配置協議会で話し合うべき内容

- ・ 1つ1つの課題を考えていく。それには子どもを真ん中において、子ども達のために地域・親がどうしていくかを考えることが大事である。(複数意見あり)
- ・ 子どもにとって一番いい環境は何かという視点が大切である。
- ・ 賛成、反対の全ての意見を出して悔いの無いようにやっていく。
- ・ スケジュールに沿って進めていくこと。
- ・ 子どもの気持ちを汲むためにも、子どもの意見を聞く場があっても良いのではないか。
- ・ 統合することで、どういうことが予測されるか考え、そのためにどう対応していくか話し合っていく。(学力のことなど)
- ・ 遠くなる家庭に対して、どうサポートしてくか考える必要がある。
- ・ 元気な保護者の意見を尊重すべきだと思う。
- ・ 5ページ適正化の必要性について、きちんと説明し理解を得ることが必要だと思う。
- ・ 校地、校名、校歌等のこだわりがあると思うが、どう擦り合わせていくかが問題である。
- ・ この計画はコンクリートのような固まったものではないので、代表者5人の方に地域の意見をしっかりと吸い上げてもらえれば、いろいろな方法が見つかると思う。他地区では、例として成徳校舎と明倫校舎に児童を分ける意見もあったが、そのことに対して明倫地区の保護者や地域はどう考え、可能かどうか検討してもらいたいこともある。

(4) グループのまとめ発表

(5) 閉会

- 5 アンケートでの感想、意見等 (回収18名) 【別紙】
将来のくらし【明倫地区】を考える (回収14名) 【別紙】